

# 博物館だより

令和2(2020)年度の活動

令和3(2021).9

第26号

新潟市北区郷土博物館

〒950-3322

新潟市北区嘉山3452番地

TEL 025-386-1081

FAX 025-388-6290

museum.n@city.niigata.lg.jp



作品介绍 月岡 徳恵(1937年、北蒲原郡葛塚町(現新潟市)生まれ)

《冬至 夕暮れて》2008年、水彩、紙、77.6×108.0cm

平成21(2009)年度購入

月岡徳恵は、小学生時代から、後に水彩画家となる5歳年上の五十嵐道雄についてスケッチに通うほど、絵が好きな少年だったそうです。生家が街中で営む映画や大衆演劇の興業館(豊来館)で、さまざまなアートに囲まれて育ち、広告デザインの仕事に就きますが、制作においては、自然と向き合って描く水彩による風景画の探求を続けています。

「冬至 夕暮れて」では、冬の残照に浮かび上がる福島潟の広大な雪景が描かれています。私たちは美しく崇高な自然を前にすると、「まるで絵に描いたような風景だ」と感じることがあります。白い雪が淡い色彩に染まり、自然の形象をあらわにしたこの一瞬の光景に、月岡は、絵画になり得る風景、つまりは、己の理想の世界を発見し、画紙に留めようとしたのではないのでしょうか。自然と共振する画家の心象風景といえましょう。(神田直子)

常設展示併催一所蔵美術作品特別展示  
福島潟が育んだ水絵の文化

(令和2年7月23日～8月23日)

展示作品



## 世界中の日常を一変させたコロナ禍

～伝わり、残る、疫病退散への願い～

木村 隆行（前 新潟市北区郷土博物館 館長）

令和2（2020）年初頭から日本国内でも感染が広がり始めた新型コロナウイルス感染症。ほぼ1年経った令和3年春から、ようやく待望のワクチン接種が始まりました。

世界中で猛威を振るうこのウイルスの影響で、日常生活は一変し、日本中の学校・公共施設では、感染防止対策として臨時休校・休館の措置が取られました。また、博物館・美術館等も臨時休館となり、人々の“すごもり”傾向等により多くの館で来館者数は低迷したようです。

当館は、令和2年4月21日から5月10日までの20日間休館しました。休館明けからは入館時のマスク着用・手指の消毒をお願いしています。また、例年実施している事業にも大きな影響がありました。小中学校の臨時休校を受けて「松蔭賞書道展」は会期を調整し、「北区こども科学展」は中止、そして、30回目となるはずの「博物館まつり」も中止し、年間入館者数は大きく減少しました。

さて、日本でも世界でも疫病が蔓延すると、神々など人間ではない存在にすがらる傾向があります。このたびは、江戸時代のアマビエという妖怪が日本中で脚光を浴びました。県内では、「福島潟に光り物の妖怪が現れ、その姿を朝夕に見ると難を逃れられる」という江戸時代の刷物（右図）があることがメディアで取り上げられました。福島潟が北区にあるため、当館もこの妖怪に関する問い合わせやメディアの取材に対応しましたが、潟周辺にも県内にもこ

の話は伝わっておらず、江戸時代の福島潟に思いを馳せた1年となりました。

北区では、福島潟の光り物の史料は未発見ですが、集落に伝承する神楽舞・獅子舞に「疫病退散」を由来とするものが4つあり、企画展では、そのうち2つの神楽のお頭を展示しました（内容は3頁）。企画展を通して、郷土芸能が人々の暮らしと深く関わっていることを広く紹介する機会を得るとともに、当館でも再認識する機会となりました。

令和2年度は北区の歴史と疫病との関連を意識した1年でした。今後、1日も早くこのウイルスが完全に終息し、以前の日常に戻ることを祈ってやみません。



新潟県立歴史博物館蔵「光り物 刷物」

## — 閉塞感のただよう今こそ — 博物館でゆったりとしたひと時を

川崎 裕子（新潟市北区郷土博物館 館長）

新年度から北区郷土博物館長に就任いたしました川崎と申します。よろしくお願いいたします。

いまだ収束が見えないコロナ禍の中、新年度を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの生活は一変しました。日常生活の中で人と人との関係や関わり方など変化を余儀なくされる中、昨年度、博物館でも止む無く中止や会期を変更した事業があります。

多くの皆様からご参加いただいている「松蔭賞書道展」や「北区こども科学展」、「博物館まつり」などです。今年度は可能な対策を十分に取ながら事業を実施したいと考えております。また、常設展拡大企画「昭和のくらし展」

や美術企画展「本の読みかた、愛しかた」展、また秋には「眼と手のあいだ—4人の画家がみつめた風景」など計画しています。

さらに令和4年度開催予定の「木崎村小作争議100周年事業」では、展示予定の市指定文化財の修復や資料調査を継続しながら、準備を進めています。

先の見えない閉塞感のあるこんな時こそ、博物館にお出かけいただき、ゆっくりじっくりと多くの歴史的資料に触れながら、古に想いを馳せていただくひと時を過ごしてもらえたらと考えています。多くの方のおいでをお待ちしています。



## 1 展示活動

### (1) 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

#### (2) 企画展及び関連事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催している「新潟市北区こども科学展」は中止した。

#### ①常設展拡大企画

##### 昭和の暮らし展－「住まい」の道具イロイロー

シリーズ4回目は、「住まい」にかかわる約50～70年前の道具や写真など84点の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介した。

・会期 令和2. 1/4 (土)～5/17 (日)

(4/21～5/10は感染症拡大防止のため臨時休館)

・入館者数 2,049人 (4/1～5/17は334人)

・展示点数の内訳 民俗資料56点(参考資料2点含む)

写真22点 イラスト6点

●ふろしきで包んでみよう 会期中随時(5月から中止)

●天びん棒を担いでみよう 会期中随時(5月から中止)

#### ●展示解説会

実施日 4/11(土) 参加者数 3人

(4/25(土)は臨時休館のため中止)

講師 曾部珠世

※手織り体験と葛塚縞手織り機の実演及び、昔のおもちゃで遊ぼう(3月～5月)は、感染症拡大防止のため中止した(1月～2月の手織り体験と葛塚縞手織り機の実演については前号参照)。

#### ②－写真と映像、そして本物で見る－

##### 北区の神楽と獅子舞のここに注目展

北区には多くの郷土芸能が受け継がれ、神楽・獅子舞は18団体が活動中である。平成29～令和元年度にかけて実施した事業などで撮影した写真・映像、資料を通して、北区の郷土芸能を紹介した。

・会期 6/6(土)～7/12(日)

・入館者数 650人

・展示点数の内訳

実物11点 写真36点 説明パネル8点

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初企画した芸能発表会は実施しなかった。

#### ③常設展示併催―所蔵美術作品特別展示

##### 福島潟が育んだ水絵の文化

新潟市北区の豊栄地域に根付いている水絵(水彩、日本画)の文化を、在郷作家3人の自然をみつめる眼を通して考える機会とした。

・会期 7/23(木・祝)～8/23(日)

・入館者数 609人



「昭和暮らし展」展示解説会



北区の神楽と獅子舞のここに注目展



福島潟が育んだ水絵の文化

#### ・展示点数の内訳

水彩画7点、日本画3点

#### ・出品作家

五十嵐道雄、高野常与志、月岡徳恵

#### ④第23回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、新潟市内の小学3年生～中学3年生を対象に、書に親しむ機会づくりの一環として開催。学校の臨時休校により、作品の応募締切と開催時期を例年より遅らせて実施。応募総数1,980点のうち入賞・入選作品238点を展示した。

また、前年度に続き、中学1年生の課題「河童の沼」にちなみ、文学作品『河童のユウタの冒険』関連の模型とパネルを展示。



- ・会期 9/12(土)～10/11(日)
- ・入館者数 914人
- ・審査員(50音順)
  - 伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館 学芸員)
  - 岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部 教授)
  - 小黑 五稜氏(書家・新潟県書道協会顧問)
  - 和泉 哲章(新潟市立白南中学校 校長)

応募校数	学年別応募数内訳(点)	
	( )内は教室・個人	
北区内…小学校9校 中学校6校	小3	313(39)
市内他区…小学校1校 中学校5校	小4	373(63)
書道教室…9校	小5	321(71)
個人出品…6人	小6	347(44)
	中1	437(37)
	中2	105(32)
	中3	84(19)
	合計	1,980(305)

- ・入賞者数 松蔭賞 7人(各学年1人)
- 238人 優秀賞 21人(各学年3人)
- 特選 70人(各学年10人)
- 佳作 140人(各学年20人)



第23回 松蔭賞書道展

## ⑤美術にみる

### 型とシンボル展－図像の伝統と現代－

伝統的なシンボル(象徴)を用いた図像(虎図、達磨図等)や「型」による造形(ひな人形、天神人形等)と対照しつつ、新潟出身の気鋭の作家 北條佐江子、長沢明、ワタナベメイの絵画作品や、高橋清の彫刻作品(当館所蔵)にみる、現代美術の記号的な表現を紹介した。

- ・会期 11/14(土)～12/13(日)
- ・入館者数 1,015人
- ・展示点数の内訳
  - 平面15点、立体5点
- ・出品作家
  - 鈴木香雲、高橋清、長沢明、北條佐江子、味方海山、森華江、ワタナベメイ

### ●作品鑑賞会

- 実施日・参加者数・講師
- 11/22(日)・28人・神田直子
- 11/29(日)・4人・齋藤加奈

- 12/6(日)・4人・齋藤加奈
- 12/13(日)・6人・神田直子



「型とシンボル展」作品鑑賞会

## ⑥常設展拡大企画

### 昭和の暮らし展 昔の子どもたちの日々

約50～70年前まで使われた道具から、昔の生活、人々の知恵・工夫を紹介するシリーズの第5回目。学校で使われていた教科書や備品、手作りの遊び道具のほか、家の“働き手”として子どもたちも使った道具を展示し、昭和30年代頃までの子どもたちの生活や、生活の苦労の中にあつた数々の工夫や楽しみを紹介した。

- ・会期 令和3. 1/5(火)～5/16(日)
- ・入館者数 2,494人(1/5～3/31まで1,583人)
- ・展示点数の内訳 民俗資料67点(参考資料2点含む)
  - 写真27点、イラスト5点
- ひみつ基地で遊ぼう(昔の遊び) 会期中随時
- 天びん棒を担いでみよう 会期中随時

## 2 教育普及事業

### (講座・教室・講演会・講師派遣等)

※感染症拡大防止のため「第30回 博物館まつり」は中止した。

### (1) 講演会『「越後輿地全図」で見る福島潟の開発～日本で唯一無二の「国絵図」「越後輿地全図」とその系譜～』

江戸後期に地理学者 草間文績等によって作られた越後輿地全図の特徴と、福島潟の新田開発の経緯などについての講演。申込多数であったため、2日間開催した。

- ・期日と参加者数 11/7(土)・30人
- 11/8(日)・28人
- ・会場 当館
- ・講師 亀井 功氏(巻郷土資料館友の会会員)



亀井氏(右)所蔵のさまざまな絵図を広げての講演



## (2) 歩いて！バスで！おとなの北区探検ツアー

新型コロナウイルスでの事業の中止や変更により、急ぎょ屋外で行う全3回の講座を新潟市豊栄地区公民館と企画。定員の制限で募集人数が少なかったため申込多数となり、各コースを2回ずつ実施した。

・共催 新潟市豊栄地区公民館、当館

・期日と参加者数

### ●岡方コース「阿賀野川の河跡を歩く」

新江用水、十二湯、旧長戸呂湯跡、高森の丘など  
9/16(水)・12人 10/14(水)・11人

### ●木崎コース「砂丘と放水路を巡る」

福島潟放水路管理所・棕堰、北巡駐蹕碑、木崎村小作争議記念碑など

9/23(水)・12人 10/7(水)・12人

### ●葛塚コース「川に囲まれていたまちの歴史を歩く」

開市神社、本町通り、新井郷川の改修跡など  
9/30(水)・13人 10/21(水)・11人

・講師 曾部珠世(岡方・木崎コース)

まち歩きガイド北宝隊2人(葛塚コース)



葛塚コース(北宝隊によるガイド)

## (3) 講師派遣等

事業名・主催	期日・参加者	内容	派遣講師
「ご近所だんぎ」 新潟市豊栄地区公民館	9/10(木) 26人	講座 「写真で見る北区の水害」	曾部珠世
「とよさか中高年教養大学」 (同上)	9/12(土) 40人	講座 「現代美術への招待(2)」	神田直子
「とよさか中高年教養大学」 (同上)	令和3. 2/13(土) 40人	講座 「世界の美術館ー コレクションのお話ー」	神田直子

## (4) 他館への協力

### ① 江南区郷土資料館ボランティア向け研修への協力

北区の勤皇の志士 遠藤七郎(北辰隊)と曾我簡堂(岡方組正気隊)を学ぶ研修の対応。当館市民ガイドの研修も併せて行った(内容は6頁を参照)。

・主催 新潟市江南区郷土資料館

・期日と参加者数 10/30(金)・19人

(うち4人は当館市民ガイド)

・会場 当館

・講師 曾部珠世

## (5) レファレンス

・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、郷土史関連図書の閲覧対応

・他の博物館や大学など研究機関への協力

## (6) 北区のお宝マップ(第4版)の改訂

詳細は10頁に掲載

## 3 ふるさと学習への対応

### (1) 学校教育の場としての利用

常設展示及び企画展「昭和の暮らし展」などを通して、小学3年生の「かわる道具と暮らし」、小学4年生の「福島潟の干拓の歴史」などの説明を行い、学校教育の一環としての博物館利用に対応し、学習の場を提供した。対応にあたり、市民ガイドの協力をいただいた。

#### ① 葛塚小学校4年生(社会科「福島潟の干拓の歴史」)

・期日と人数 11/18(水)・60人

11/20(金)・63人

・会場 常設展示室(両日)

・講師 曾部珠世(両日)、  
市民ガイド1人(18日)、2人(20日)

#### ② 葛塚東小学校4年生(社会科「福島潟の干拓の歴史」)

・期日と人数 12/8(火)・62人

12/10(木)・63人

・会場 常設展示室(両日)

・講師 曾部珠世(両日)  
市民ガイド1人(8日)、2人(10日)

#### ③ 木崎小学校3年生

(出前授業「木崎地区ってどんなところ?」)

・期日と人数 12/10(木)・78人

・会場 新潟市立木崎小学校

・講師 木村隆行

#### ④ 葛塚東小学校3年生(社会科「かわる道具と暮らし」)

・期日と人数 令和3.1/19(火)・65人

1/21(木)・32人

1/22(金)・32人

・会場 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」(全日)

・講師 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈(全日)

市民ガイド2人(各日、のべ6人)

#### ⑤ 葛塚小学校3年生(社会科「かわる道具と暮らし」)

・期日と人数 令和3.1/20(水)・33人

1/22(金)・65人

・会場 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」(両日)

・講師 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈(両日)

市民ガイド2人(20日)、3人(22日)



⑥木崎小学校3年生(社会科「かわる道具とくらし」)

- ・期日と人数 令和3.1/27(水)・28人  
1/28(木)・27人  
1/29(金)・29人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」(全日)
- ・講師 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈(全日)  
市民ガイド3人(27・29日)、2人(28日)

⑦岡方第一小学校3年生(社会科「かわる道具とくらし」)

- ・期日と人数 令和3.2/9(火)・17人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド1人



葛塚東小学校4年生 福島潟の干拓の歴史



木崎小学校3年生  
(天秤棒で水運び体験)



葛塚小学校3年生 かわる道具とくらし  
(昭和のくらし展 見学)

(2) 一般の地域学習の場としての利用

①郷土・新潟を元気にする会「生活を支えてきた

葛塚市場のおゆみ 遠藤七郎左衛門」

- ・期日と人数 4/3(土)・37人
- ・会場 常設展示室、集会室
- ・講師 曾部珠世

4 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動

(1) 市民ガイドの活動実績

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行った(登録13人)。

- ・一般団体見学対応 0回
- ・個人見学対応 2回  
見学者4人 市民ガイドのべ2人
- ・学校見学対応(再掲)13回  
見学者のべ576人 市民ガイドのべ26人

(2) 市民ガイド研修

ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

①当館企画展関連研修と情報交換

「一写真と映像、そして本物で見る—北区の神楽と獅子舞のここに注目展」での研修(担当 木村)と、令和元年度のガイド実績報告、ガイドを行う上での課題等の意見交換(担当 曾部、齋藤)を行った。

- ・実施日と参加者数 7/11(土)・市民ガイド6人
- ・研修場所 当館
- ・担当 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈

②常設展示「北区の明治維新」関連研修(他館ボランティアとの合同研修)(再掲)

江南区郷土資料館ボランティアガイド研修として、北区の勤皇の志士 遠藤七郎(北辰隊)と曾我簡堂(岡方組正気隊)に関する歴史資料、書画作品等の展示解説を行うのに合わせ、市民ガイドへ参加を呼びかけ、研修を行った。

- ・実施日と参加者数 10/30(金)・市民ガイド4人
- ・研修場所 当館
- ・担当 曾部珠世



研修の風景

③当館企画展関連研修と情報交換

「美術にみる 型とシンボル展」での市民ガイド向け研修(担当 神田)と、コロナ禍におけるガイド方法についての意見交換(担当 曾部、齋藤)、常設展示「水のめぐみ」コーナー資料の展示順変更にかかる報告(担当 曾部)を行った。

- ・実施日と参加者数 11/14(土)・市民ガイド3人
- ・研修場所 当館
- ・担当 神田直子、曾部珠世、齋藤加奈



## ④ガイド実践研修

小学校のふるさと学習に対応するための「予習・実践・振り返り」等の実践的な一連の研修を行った。

・実施日 令和3.1/17・19～22・27～29、2/9

※太字は予習

- ・参加者数 市民ガイド3人
- ・研修場所 当館
- ・担当 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈

## 5 博物館実習生等の受け入れ

※感染症拡大防止のため、例年、学校の要請に応じて受け入れている中学生の職場体験は中止となった。

## (1) 博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・新潟大学4年生 3人
- ・8/28(金)～9/11(金)のうち7日間

## 6 資料(指定文化財を含む)の保管・整理

## (1) くん蒸処理の記録

- ・収蔵資料くん蒸処理 令和3.1/18(月)～1/22(金)  
令和元(2019)年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、一般公開を中止した横井の丘ふるさと資料館の民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸し、郷土資料収蔵庫に収蔵した。
- ・防虫防菌処理 郷土資料収蔵庫 令和3.1/20(水)

## (2) 収蔵資料等の整理(収蔵歴史資料の目録点検と入力)(外部依頼)作業の記録

## ①歴史資料の再整理(収蔵歴史資料の目録点検と入力)(杉本耕一氏へ依頼)

- ・資料名 市指定文化財「内沼・佐藤家文書」及び「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
- ・作業日数 16日

## ②新収蔵歴史資料の清掃・目録作成(杉本耕一氏、河合清氏へ依頼)

- ・資料名 「濁川・渡邊家文書」
- ・作業日数 延べ18日

## 7 北区の文化財(指定文化財ほか)の調査整理・公開活用・保護

## (1) 調査整理

- ①市指定文化財の歴史資料の再整理 前項6-(2)に掲載
- ②地震等による被害調査及び活用等についての調査
  - ・法淳寺(市指定文化財)にかかる令和元年6月の地震被害の経過確認(電話による聞き取り) 令和3.2月
  - ※令和2年度は活用等についての調査はなかった。
- ③木崎小作争議関係資料(市指定文化財)の修復にかかる調査 次項8-(2)に掲載

## (2) 公開活用

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企画展及び博物館まつりに伴う芸能発表会は中止した。

## ①指定文化財資料の他館への貸出

- ・福島潟民俗資料14点、内沼・佐藤家文書2点(新潟市歴史博物館)

## ②文化財等説明板の設置・修繕

- ・板面修繕 4件(宿場町 木崎、開市神社、太郎代天曝観音、小熊幸一郎の功績)
- ・塗装 5件(宿場町 木崎、太郎代天曝観音、小熊幸一郎の功績、サンベ、浜サンベ)
- ・全体(板面・脚部)修繕 1件(山本丈右衛門の墓)
- ・文化財等説明板に二次元コード追加 18件  
『ガイドブック 北区のお宝ものがたり』に掲載の説明等を見ることができる二次元コードを板面に追加した。



右下に二次元コードを追加した文化財等説明板(開市神社)

## (3) 指定天然記念物の保護育成

「大久保の大ケヤキ」(市指定天然記念物)の枝の伐採についての相談対応等。

8 特色ある区づくり事業  
「木崎村小作争議100周年事業」  
(令和2～4年度の3カ年事業の初年度)

令和4(2022)年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料の所在確認調査や、展示予定の歴史資料(市指定文化財)の修復のための調査を行った。

## (1) 資料の所在確認調査

新潟県立文書館所蔵の「北蒲原郡濁川新田 真嶋家自家経営文書」「濁川新田 真嶋家文書」「北蒲原郡黒川村 伊藤家近代文書」を調査した。

## (2) 指定文化財修復のための状態調査

「看板(無産農民学校西入口)」(市指定文化財)修復のための状態調査を東北芸術工科大学に委託して行った。

- ・委託期間 8月～令和3.3月



## 1 展示活動

### (1) 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

#### (2) 企画展及び関連事業

※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程・内容等を変更する場合があります。

#### ①常設展拡大企画

##### 昭和の暮らし展 昔の子どもたちの日々

前年度1月からの継続。シリーズ5回目(内容は4頁に掲載)。

- ・会期 1/5(火)～5/16(日)
- ・会期中の催し 展示解説会4/10(土)・24(土)

#### ②美術企画展 本の読みかた、愛しかた

書家 弦巻松蔭氏愛蔵の豆本、工芸美を極めた高橋友太郎の私刊行本、「見る」ことを求める折帖、「本とは何か」を探究する美術作品など、多様な本の世界を紹介。

- ・会期 6/5(土)～7/11(日)
- ・作品鑑賞会 6/20(日)、7/4(日)

#### ③第24回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催する競書大会。書に親しむ機会作りの一環として児童・生徒から課題作品を公募して開催。入賞作品約230点を展示。

- ・会期 7/24(土)～8/29(日)
- ・対象 新潟市内の小学3年生～中学3年生
- ・主催 新潟市北区

#### ④第14回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小・中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示。

- ・会期 9/18(土)～10/10(日)
- ・主催 新潟市北区
- ・部門 模型、発明工夫、標本、観察・実験

#### ⑤美術企画展

##### 眼と手のあいだー4人の画家がみつめた風景

風景をみつめる画家の「眼」と制作する「手」の間には何かがあるのか。池田則美、齋藤満栄、鶴巻加代、西村満という新潟市北区にゆかりのある4人の画家の作品を通して、画家の創造の秘密を探る。

- ・会期 11/13(土)～12/12(日)

#### ⑥常設展拡大企画 昭和の暮らし展－日々をいろどる「食」の風景－(仮称)

昭和の時代に使われた道具を展示し、その暮らしを紹介する「昭和の暮らし展」。シリーズ6回目は、さまざまな食事のシーンを、食事する「場所」に焦点をあてて紹介する。

- ・会期 令和4(2022)年1/4(火)～5/8(日)

## 2 教育普及事業(講座・教室、レファレンス等)

### (1) 第30回 博物館まつり

11/3(水・祝)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

### (2) ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

### (3) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポートや関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

### (4) 刊行物販売

## 3 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動

市民ガイド研修(スキルアップ研修、情報共有・情報交換)の実施、来館者対応についての調整の事務等

## 4 博物館実習等の受け入れ

### (1) 博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・期間 8/28(土)～9/4(土)のうち7日間

### (2) 体験学習等の受け入れ(中学生・高校生の職場体験)

## 5 郷土資料収蔵庫・横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止
- ・空調管理(郷土資料収蔵庫のみ)
- ・横井の丘ふるさと資料館解体に伴う業務(資料搬出等)

## 6 所蔵資料(指定文化財含む)の保管・整理

- ・くん蒸処理(各分野の所蔵資料・新収蔵資料等)
- ・歴史資料の整理作業(目録化等)
- ・民俗資料の整理作業(台帳化、郷土資料収蔵庫配架等)
- ・美術作品の整理作業(台帳整理等)
- ・整理作業の外部依頼(歴史資料目録のデータ入力等)

## 7 北区の文化財(指定文化財ほか)の関連事業

### (1) 調査整理

- ・木崎村小作争議関連資料の調査
- ・木崎小作争議関係資料(市指定文化財)の修復(次項8を参照)

### (2) 公開活用

- ・文化財等説明板の修繕、二次元コードの追加

### (3) 保護育成

- ・くん蒸処理(収蔵資料等)(再掲)
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応
- ・木崎小作争議関係資料(市指定文化財)の修復(次項8を参照)

## 8 木崎村小作争議100周年事業

(令和2～4年度 特色ある区づくり事業の2年目)

令和4(2022)年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料所在確認調査を継続し、展示予定の指定文化財の歴史資料「看板(無産農民学校西入口)」の修復を東北芸術工科大学に委託して行う。



## 令和2(2020)年度 入館状況

4/21～5/10は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。  
12/28～1/4は年末年始のため休館。分館 横井の丘ふるさと資料館は現在休館中。

月別	入館者数(人)	主な行事
4月	272	昭和のくらし展―「住まい」の道具イロイロー 1/4～5/17
5月	185	昭和のくらし展―「住まい」の道具イロイロー 1/4～5/17(計2,049人 ※4/1～5/17は334人)
6月	532	―写真と映像、そして本物で見る―北区の神楽と獅子舞のここに注目展 6/6～7/12
7月	427	―写真と映像、そして本物で見る―北区の神楽と獅子舞のここに注目展 6/6～7/12(650人) 所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化 7/23～8/23
8月	526	所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化 7/23～8/23(609人)
9月	850	第23回 松蔭賞書道展 9/12～10/11
10月	481	第23回 松蔭賞書道展 9/12～10/11(914人)
11月	781	美術にみる 型とシンボル展―図像の伝統と現代― 11/14～12/13
12月	605	美術にみる 型とシンボル展―図像の伝統と現代― 11/14～12/13(1,015人)
1月	665	昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々 1/5～5/16
2月	468	昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々 1/5～5/16
3月	450	昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々 1/5～5/16(1/5～3/31は1,583人)
合計	6,242	

■館外事業参加者数 合計78人  
・出前授業(北区内小学校) 12/10 (78人)

## 寄贈資料紹介

令和2(2020)年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

### 【歴史資料】

平田 敬正様(北区) ……「昭和13年度版 松ヶ崎浜村勢要覧」1点  
渡邊 健様(北区) ……江戸～昭和期の文書類一式(濁川地区関係など)  
佐藤 隆之様(北区) ……絵葉書(豊来館、明星社印刷所)計3点  
中 常 楼 様(北区) ……「葛塚会館」(額装)、新潟財界人の寄せ書き(額装)計2点

### 【民俗資料】

笠原 俊博様(東区) ……飯盒1点  
相馬 八一様(北区) ……三徳式マンガク・自在カギ・ワラスグリなど計5点

### 【美術資料】

新井田直希様(北区) ……五十嵐道雄作「早春に咲く連翹」1点

### 【図書】

新潟郷土史研究会様(西区) ……新潟郷土史研究会編「郷土新潟 第60号」  
新発田郷土研究会様(新発田市) ……新発田郷土研究会編「新発田郷土誌 第48号」  
伊藤 省風様(胎内市) ……伊藤省風著「縁硯」  
羽賀 一蔵様(北区) ……羽賀一蔵著「私が出逢った山の妖怪」  
関口 忠邦様(北区) ……関口忠邦著「新潟県の天然物方言集『方言名・地方名』から標準和名を検索」など2冊  
関東民具研究会様 ……関東民具研究会編著「【論集】地域研究の現場から 関東民具研究会の足跡」  
岡村 鉄琴様(西蒲区) ……越佐文人研究会・新潟大学大学院現代社会文化研究科編「新潟県文人研究 第23号」  
NPO法人 新津郷土に親しむ会様(秋葉区) ……NPO法人 新津郷土に親しむ会・桂乃部会編「新発田藩 蒲原の大庄屋 桂家」

### 寄贈のお願い

当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。



## 『北区のお宝マップ』第4版を配布中！

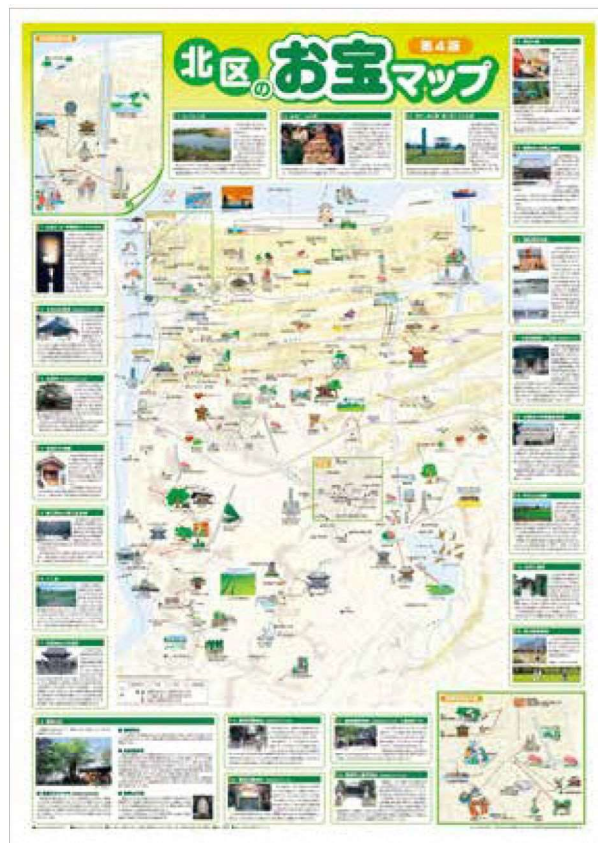
このたび、北区の歴史・史跡の情報が満載の「北区のお宝マップ」を改訂しました。初版発行から10年以上が経過したため、古くなった情報やこの期間に新たにわかった情報などを加筆修正しています。また、当館が、北区の歴史を紹介するために区内各所に設置している説明看板(※)の設置場所も、今回新たにマップに掲載しました。



マップは、広げるとポスターサイズで見やすく、折りたたむと持ち運びに便利なA5サイズです。当館のほか、北区内の公共施設にて無料配布をしています。

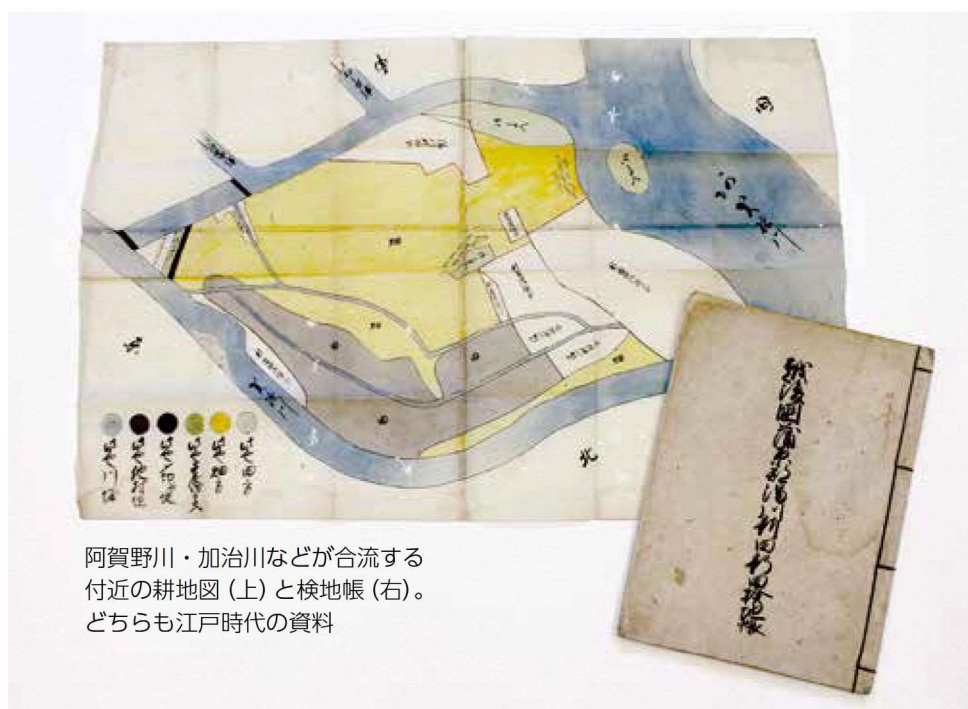
皆さん、お宝マップを持って、北区各地を巡ってみませんか！

※区内57ヵ所に設置している文化財等説明板には、順次、二次元コードを追加しています。スマートフォンで二次元コードを読み込むと、『ガイドブック 北区のお宝ものがたり』の関連ページを参照でき、現地でもより詳しい内容も知ることができるようになっています。



## 新収蔵資料の紹介

## 「濁川・渡邊家文書」を収蔵しました



阿賀野川・加治川などが合流する  
付近の耕地図(上)と検地帳(右)。  
どちらも江戸時代の資料

令和2年11月、北区濁川の渡邊家から歴史資料の寄贈を受けました。資料の清掃・くん蒸後に目録を作成し、江戸中期(宝暦期)から昭和50年代の文書で、濁川地区とその周辺地域の歴史を伝える資料であることがわかりました。江戸時代のものは、濁川新田(現濁川)と濁川興野(現名目所)に関わる検地帳や年貢関係書類、阿賀野川・加治川・新井郷川などの合流地点の絵図など、また、明治時代のものには、村の境界をめぐる裁判記録などが含まれています。

今後、展示などで公開していきたいと考えています。